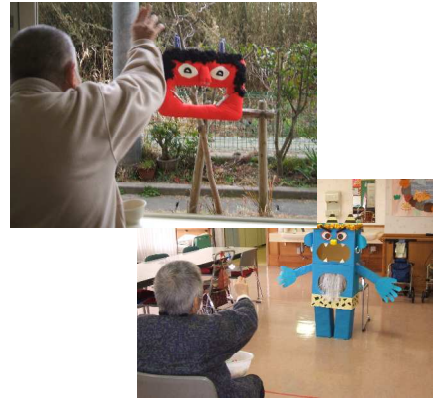




《利用の様子①／節分会》

2月3日（月）毎年恒例の「節分会」を行いました。まずは外庭にて向けての豆まきから始めました。皆さん「鬼は外！！」「福は内！！」と大きな声で豆をまいていましたが、自分の口に入れて食べてしまう利用者もいて、大笑いが起こりました。次は職員による節分に関する話やクイズを出題して頭をほぐしていただき、いよいよメインの鬼の当てゲームです。事前に賞品が出ることを告知していた事もあったと思いますが、皆さん大ハッスルでお手玉を鬼に向かって投げていました。この光景を見て、今年一年これで鬼も退散して良い年になるだろうと感じた「節分会」でした。



《利用の様子②／ひな祭り》

3月3日に「ひな祭り」を行いました。皆様が楽しみにされている昼食には、今年も豪華な「ひな御膳」をご用意しました。ちらし寿司を中心に彩り良いお料理の数々に目も胃袋も満足していただけたと思います。午後からはひな祭りに因んだクイズや唄、あみだくじを行いました。あみだくじではどの賞品が当たるかわくわく、ドキドキされ、当たった賞品に喜ばれる方、残念がられる方それぞれでした。そしておやつには甘酒とひなあられを召し上がり、ひな祭り気分を満喫した1日となりました。



《利用の様子③／新聞紙の貼り絵》

新聞紙を利用した貼り絵は皆様からの評判もよく、折り紙の貼り絵とは違った雰囲気仕上がりになっています。今回は花菖蒲の貼り絵を行いました。周りを黄色にすることで花菖蒲の青紫が栄えて立派に見えます。デイルーム前の廊下が華やかになりました。



《看護師より／目薬について》



デイサービスを利用される方の中にも目薬を使用している方が多く見られます。今回は目薬について少し調べてみました。目薬は1滴で目に染み渡るように作られているので1滴で十分です。まぶたの中にためておける薬剤の量には限りがあるのでたくさん目薬をさしてもあふれ出て、無駄になるだけです。あふれた目薬が目のまわりのただれを起こすことがあるのでしっかり拭くことが大切です。医師からの指示がない場合は1日に5～6回までにしましょう。処方薬は点眼回数が決まっています。目をパチパチさせると目薬が目の表面全体に届くように思われがちですが、せっかくさした目薬が涙と一緒に目頭の方に集まって流れ出てしまいます。目はパチパチせず、1分程度軽く目頭を押さえながら目を閉じましょう。処方された目薬なら開封後長くて1ヶ月（薬によっては1週間と短い物もあります。）市販の目薬は3ヶ月過ぎたら処分することをお勧めします。古い目薬を使うと目の表面に傷をつける恐れがあります。2種類以上の目薬を使用する場合には点眼の間隔を5分以上あけましょう。容器の先がまっすぐで目に直接触れないように注意しましょう。他人の目薬は菌やウイルスが点眼ビンに入りやすいので使わないでください。市販の目薬で効果がある病気もありますが、点眼して1週間たっても症状が改善しない時は眼科を受診しましょう。

